

探究講座①「探究活動とは？」

1. 本時の目標

- ・探究活動が行なわれている背景（探究活動の意義・必要性、教育の変遷の様子など）を理解する。
- ・発表会における質問の種類や考え方について学ぶ。
- ・過去の探究活動の体験談を聞き、探究活動の意義やその必要性を学ぶ。

2. 本講座で生徒に身につけて欲しいコンピテンシー

本講座に関しては、探究活動や今後の活動に関して意欲を向上させることに目標を置いている。課題発見、問題解決といった探究活動の過程において何より生徒自身が主体的に取り組むことが大切であり、高い意欲とともに粘り強く試行錯誤することで「生徒エージェンシー」が育まれていくと考えているためである。本講座においては以下のようなパフォーマンス課題を用いて、探究活動の目標達成に向けた具体的な行動につなげるための「気づき」が得られたかどうかを評価することにした。

3. パフォーマンス課題と評価手法(ルーブリック)

【パフォーマンス課題：主体的に学習に取り組む態度】

本時を踏まえて、“今後、探究活動を進めるにあたり、大切にしようと思ったこと”を 100 字以内でまとめて、Google Form に入力しましょう。

【評価手法（ルーブリック）】

	具体的な育成項目	4	3	2	1
主体的に取り組む学習態度	探究活動に向けての大切にすること	今後の探究活動に向けて、具体的にどのような行動をすれば良いのか、大切にしようと思うことを書いており、特に評価できる。	今後の探究活動に向けて、具体的にどのような行動をすれば良いのか、大切にしようと思うことを書いている。	今後の探究活動に向けて、心持ちなど、大切にしようと思うことを書いている。	今後の探究活動に向けて、大切にしようと思うことを書いていない。

4. 本時の展開

探究講座①「探究活動とは？『「高校生の学び」とは？～72 期の生徒へ送るメッセージ～』 1 時間目

時間	学習の内容	教材
0	出欠確認，ワークシートの配布	スライド，ワークシート Google Form アンケート
5	ファシリテーター登壇（A.A 先生） ・ファシリテーター自己紹介 ・アイスブレイク：前後の 3～4 人で議論して Google Form で回答 Q) 先日のサイエンスフェアで先輩の発表を見学して「自分だったらこう改善したい」と思ったことは？	
10	シンポジウム 「高校生の学び」とは？ ～72 期の生徒へ送るメッセージ～	

	・シンポジスト (O.T 先生, K.Y 先生) 登壇 トークテーマ①高校時代について 「どんな高校時代を過ごしましたか？」 「自分の高校時代に受けていた教育と現在の高校教育との違い」 「高校時代に受けた授業で役に立った授業, 受けたかった授業」 「これからの社会で活躍する人はどんな人？」 など	
30	ディスカッション Q) ここまでの議論を聞いた上で, 「学力」とは？ トークテーマ②探究活動について 「探究活動を通してどんな力が身につくと思いますか？」 「今, 高校生に戻るとしたら, どんな探究活動をしたいですか？」 「72 期へメッセージ (高校時代にしておいてほしいこと)」 など	
50	シンポジウム終了 探究活動の説明 ・探究活動の目的, スケジュール, 注意事項など ※特に, 『探究活動を「未来を創る場」として, 自らのキャリアとの関連性を考える機会とすること』を強調	

探究講座①『「質疑応答」でみんなが深まる発表会へ』 2 時間目

時間	学習の内容	教材・留意点
0	出欠確認, ワークシートの配布 ファシリテーター登壇 (K.S 先生) ・ファシリテーター自己紹介	
5	質疑応答についての講義 ・なぜ質問できないのか？ ・質問のパターン例を見渡してみよう →ワークシートの「Q パタ」を確認	スライド, ワークシート
15	活動① ・具体的な探究ポスターに対して →①ポスター読み込み, ②質問例から良いと感じた質問に理由を記入, ③ 4 人グループで共有	ワークシート記入
35	活動② ・改めて先生方への質問を考えよう →質問内容を 4 人グループで 2 つ以上考え, フォームで提出 時間の限り 1 時間目の先生方に質問	Google Form アンケート 1 時間目の先生方登壇

50	ファシリテーター，シンポジスト降壇	
----	-------------------	--

探究講座①「探究活動とは？～OBOGからのメッセージ～」 3・4 時間目

時間	学習の内容	教材
0	出欠確認	OB・OG 作成のスライド
5	・ファシリテーター登壇 (N.S 先生)・講演者登壇 ・講演者自己紹介・探究活動の成果発表 (各発表 10 分間×3)	
	68 期 E.S さん (探究テーマ：授業中の教師による雑談の可能性，文系)	
	68 期 S.M さん (探究テーマ：皿状構造の再現と形成過程の研究，理科系)	
	68 期 O.H さん (探究テーマ：微小重力環境の毛細管現象における液面上昇加速度の変化，理科系)	
35	小休止	事前に OB・OG と打ち合わせをし、シンポジウムの構想を検討する
40	パネルディスカッションシンポジウム ・探究テーマの決め方 ーテーマの変遷，モチベーションの波をどう乗り切ったか など ・探究へのアドバイス ー発表することの意義，スケジュール管理，とにかく実験をする，文字にまとめる事をさぼらない など ・学校生活から ーレポートの意義，附属高校のよい環境を利用する，友達や仲間とのつながりの大切さ など	
80	質疑応答	
90	ワークシート記入・Google フォームへの入力	
		Google Form アンケート

出典：大阪府立豊中高校.課題研究教材.Q パタ

<https://www2.osaka-c.ed.jp/toyonaka/0b2799b6c62ac2eba35f3330c997b8d6.pdf>